

## 第13回 医療安全監査委員会議事録

日時：令和5年9月6日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、永井仁美委員、  
吉野敬昌委員、谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長、長沼誠医療安全管理責任者、  
宮崎浩彰医療安全管理部長、藤原宏司事務部長

【事務局】総合企画室 齋藤

議 事：

### 1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部長から、資料に沿って次の4つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

### 2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

- ・医療法に基づく院内事故調査委員会について

① はじめて院内事故調査委員会を設置するのは？

（回答）はじめてである。

② 設置を決めた経緯は？

（回答）医療の経過検討委員会での結論及び診療科の意向を踏まえ、病院長として判断した。

③ 国の機関に報告義務はあるのか？

（回答）日本医療安全調査機構に報告する。

- ・タイムアウト実施率が診療科によって、ばらつきがあるが？

（回答）医療安全管理部からの周知が十分でないところがあるので、今後周知徹底する。

- ・放射線検査報告書について

① 診療科毎に未読の患者リストを抽出とあるが、どのように行っているか？

（回答）検査オーダ医師が報告書を展開するとシステム上既読になる。医療情報部に依頼して読影医がチェックした重要所見とともにリスト化している。

② どのくらいの期間で作成しているか？

（回答）2週間に一度、作成している。

（意見）松田病院長から、未読患者リストの作成及び確認は、医療事故対策として、重要な取組みと考えている。医療安全管理部には多くの時間を割いて、対応してもらっている。

(意見) 谷川副病院長から、放射線科部長の立場で、本取組みにより、放射線科医のモチベーションは非常にあがっている。

・パイプ椅子から常設の椅子に変更するという取組みはよいことだと思う。

(意見) 患者の転倒事例もあり、パイプ椅子は安定性が悪いため、変更を行う。

次回開催日について

令和6年3月13日(水) 14:30から

以上